



26年度 第1号
通巻1823号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



26年度、働きやすい職場ができるように!

県教委・人事委員会に要求



高知県教組・高知高教組は、3月16日高知県人事委員会へ春季要請書を提出しました。翌17日には高知県教育委員会へ春季要望書を提出しました。(高知県教組HP参照)

1. **人事委員会へ**
人事委員会への要請書は、①中堅・高年齢者の賃金改善を図ること②長時間労働は正のための教職員増の必要性③高齢

て学校現場に混乱を招かないよう指図するものが要請項目の柱となっていました。この要請書は、人事委員会・松本職員課長に手渡ししました。(写真・上)

期雇用のある方について踏み込んだ意見を表明を行うこと④ハラスメント防止に向けた具体的な対策の促進⑤労働安全衛生体制の確立⑥母性保護・子育て支援の観点からの待遇の一層の改善⑦業務量管理・健康確保措置実施計画について労働基準監督機関として県教委の施策に改善を求めること⑧教育委員会の施策によつて学校現場に混

2. **県教委へ**
教育委員会への要望書では、第一に、県教委の責任で代替未配置が生じないよう求めることを求めました。未配置実態の毎月の公表や、緊急の場合の指導主事などの任用替えでの対策を行う等、子どもたちの教育の保障を最優先とした対応を求めました。

また、26年度4月から制定・実施される「業務量管理・健康確保措置実施計画」を実効性あるものとするため、教職員の意見を十分に反映することや進捗状況の公表を求めました。退勤の強要を含む短ハラスメント防止や、持ち帰り業務の増加を招かないことなど含めています。

さらに、長時間過密労働の解消に向けて、業務の見直しや定数増などの施策の推進、研修会等への持参文書の簡略化、報告文書の削減、持ち時数の制限(小学校20時間、中学校18時間、高校15時間)、特別支援学級や複式学級の高知県独自の定数改善、多学年学級担当手当の復活、教職員の健康面への対応の充実等についても、要望しました。

なお、この4月1日から始まった「自己啓発等休業制度及び修学部分休業制度」の要項が学校現場に

下ろされたのは2月27日。4月冒頭から使いたい人がいまだが、受け入れ先の締切が2月中旬だったため間に合いませんでした。昨年の通勤手当の高速料金往復支給開始も、4月には間に合いませんでした。そこで、こうした新しい施策の導入については、十分な議論と検討を行った上で、間に合うように現場に周知する等、丁寧な対応を図ることを求めました。

駐車場料金について
通勤手当に駐車場料金(基本は民間駐車場が対象)が含まれる制度改正がこの4月から開始されています。それに伴って、県立学校の敷地内駐車場料金徴収はなくなり、市町村立小中学校の敷地内の駐車場料金(名目は協力金等いろいろ)については、市町村の判断になります。

学校現場では、多忙化や人員不足が続いています。子どもたちの学びを支え、教職員が安心して働くことのできる環境の実現に向け、引き続きとりのくみます。

お城下

校庭の桜が若葉へと衣替えを始め、春の光がいつそう明るさを増してきました▼四月。新しく教壇に立った先生方も含めて、全員の先生方がきつと息つく暇もないほど忙しい毎日を過ごされていることでしょうか。でも、「ちゃんとやらなきゃ」と、肩に力が入りすぎてはいませんか▼そんな時こそ、職員室に戻ったら、まずは温かいコーヒー等を一服いかがでしょうか。湯気とともに広がる香りは、張り詰めた心をふんわりと解きほぐしてくれそうです。そして、そんな中での先輩・同僚・後輩等との何気ないお喋りの時間こそ大事▼準備した授業が空回りしたり、子どもたちの言葉に戸惑ったり。でも、最初から「完璧な先生」でいようとしなくて大丈夫。上手いかならない日は「成長のタネ」を見つけた証拠▼まずは深呼吸をひとつ。この一年の長い旅路を、焦らず、みんなと一緒に歩んでいきましょう。(細)

「デジタルツールは、 学習をむしろ妨げる」 世界の流れは見直しへ！

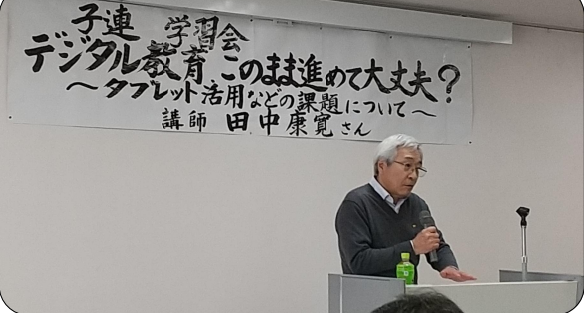
3月15日、子連が学習会

3月15日に「子どもと教育を守る連絡会」(通称「子連」)の学習会と総会がありました。参加者は約30人。教職員はもちろん、保護者なども多く、貴重な学びが行われました。

子連学習会の講師は大阪教育文化センターの田中康寛さんでした。演題は、「デジタル教育、このまま進めて大丈夫？タブレット活用などの課題について」でした。

本現状に警鐘を鳴らす内容でした。参加者の関心も高く質疑応答の時間を超えて講師の田中さんに質問が出ていました。

比較研究や、世界の「デジタル化見直し」の動きが、日本の教育現場や政策決定の場でほとんど紹介されていません。事実に基づく検証の必要性を国が認めていない現状です。



【講演要旨】
GIGAスクール構想の推進が叫ばれて、日本では(コロナ対応もあり)2021年から「一人1台端末」が導入され、文部科学省は活用を推進しています。しかし、ICT教育の効果に関する膨大な

出しています。その妨げる具体例には、運動能力の低下やスクリーン時間の増加などによりハサミが使えない、紐が結べない、針に糸が通せないといった手先の器用さが著しく低下している事が挙げられます。つまり、基本的な動作が困難となっています。脳への影響も大きく、特に乳児が使用した場合は、感覚神経からの情報を脳で分析し、運動神経へつなげるプロセスが阻害され発達に大きな影響が出るとい

結果が出ています。言語脳の形成の観点から音韻処理が重要です。それは、文字を目で見ても、頭の中心で「音」に変換するという処理です。この訓練が不足すると、読解力が育たちませ

教育を超デジタル化したスウェーデンでは、2023年に教育法が改正されました。それは、教える教科書を「印刷された学習教材」と定義し、紙の教科書を基本とする内容です。科学的根拠としてカリリンス力研究所などの権威ある機関が、「デジタルツールは学習を向上させるのではなく、むしろ妨げる」という声明を

結果が出ています。言語脳の形成の観点から音韻処理が重要です。それは、文字を目で見ても、頭の中心で「音」に変換するという処理です。この訓練が不足すると、読解力が育たちませ

活動交流では、「アスパルこうちのグラウンドを残す取り組みに協力してほしい。」「学校でのフツ素洗口について広がらないようにしてほしい」との意見が出されています。「子連」の役割について改めて参加者が確認していました。子連は4・5月の自治体訪問など、26年度も積極的に活動していきます。

「結果が出ています。言語脳の形成の観点から音韻処理が重要です。それは、文字を目で見ても、頭の中心で「音」に変換するという処理です。この訓練が不足すると、読解力が育たちませ

平和な未来を子どもたちに手渡したい 3/14全教憲法闘争学習交流集会

3月14日(土)午前中、全教と教組共闘が主催する『2025年度憲法闘争学習交流集会』がオンラインで開催されました。

県教組は、アメリカ・イスラエルによるイランへの爆撃など平和が脅かされる情勢の下で、平和についての取り組みを強めようと県執で意

思確認をしました。県教組は、アメリカ・イスラエルによるイランへの爆撃など平和が脅かされる情勢の下で、平和についての取り組みを強めようと県執で意

みは大きなものになりました。集会は3部形式で行われました。第1部は大久保賢一さん(日本反核法律家協会会長・弁護士)による講演でした。演題は「戦争も兵器もない世界を創るのはわたしたち

「講演でトランプ大統領がいかに国際法を知らないのか、どんな問題があるか学ぶことが出来ました」

裁判の意義について多くを学ぶことができました」などと感想が寄せられました。



第2部では『行動する子どもたち・その思いを聞き取るとりくみ』として高校生平和ゼミナールの活動報告と愛知県の高等学校で行われた平和学習の実践とその重要性についての報告がありました。

第3部は短時間でしたが、講演の感想も交えながらの小グループでのディスカッションでした。集会が開催された1週間後の3月21日に高市首相がアメリカトランプ大統領を訪問し、「世界中に平和と繁栄をもたらせるのは、ドナルドだけ」と彼を大きく持ち上げました。しかし、高市首相訪米のその夜、日本では1万人以上の人々が国会を取り囲み「イラン攻撃をやめろ」「戦争反対」「憲法守れ」と声を挙げました。

高市首相は、どんな約束をしてきたのか、未だに明らかにしていません。アメリカ・イスラエルとイランの戦争は、終結が見えないまま、戦争開始から一ヶ月以上が過ぎました。ロシアのウクライナ侵攻はすでに開始から4年が経過しました。世界は「新しい戦前」というよりも、「新しい戦中」に世界がなっているのではないかと危惧します。

高知県教職員組合 2026年度書記局役員のご紹介 どうぞよろしくお祈りします。

- 執行委員長 細木久義 (江陽小)
- 副執行委員長 森本真一 (高知工業)
- 副執行委員長 小田原典寿 (別府小)
- 書記長 植野慎司 (大津小)
- 書記次長 高橋まどか (芸西中)
- 執行委員 池上雄裕 (泉野小)
- 監査委員 弘田理嫁 (芸西中)
- 監査委員 小川智美 (旭東小)
- 監査委員 早馬奈菜 (黒岩小)
- 監査委員 宮尾桃子 (宿毛小)
- 監査委員 門田詩織 (江の口特支・国立高知分校)

上記役員以外にも、県下各地の多くの学校で活躍している仲間がいます。

<小中学校>

- 安芸教職員組合 0887-35-2178
- 香美・香南教職員組合 0887-53-3068
- 土佐長岡郡教職員組合 088-864-6088
- 全教・高知市教職員組合 088-821-0591
- いの町教職員組合 088-893-2841
- 高岡教職員教組 0889-42-1356
- 幡多教職員組合 0880-34-3188

<県立学校>

- 高等学校教職員組合 088-822-6822

★ぜひお気軽にお声かけ・ご相談ください。

教職員のための自動車保険は 全教自動車保険



教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

